

8月14日(月)

すべてを神の栄光のために

聖書朗読 コロサイ 3:17～4:1

あなたがたは・・・何をするにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。

I コリント 10:31

聖書に登場する人物は、その人の名がその人となりを実現するものとなっています。イエス様のお名前によってなす事はすべて主を現す行い、主を現すものです。今日の聖書箇所でパウロは、イエス様の名によって物事を行う意味について、具体的な例を挙げながら、キリストに忠実に仕える者たちにこう言っています。『あなたがたは主キリストに仕えているのです。』(24節)

このことについて教会で話し合っていたとき、定年を過ぎた酪農を営む方がこう尋ねました。「では、私が納屋の掃除をしたり、子牛たちの世話をしたり、良い仕事をしていたら、それが神の栄光を現すということになるのかね」。私は「勿論ですよ」と答えました。すると彼は、「『いやしくもなすに足る事なら立派にやるだけの価値がある』という諺を聞いたことがあるが、今、自分のしている事にもっと良い理由が見つかったよ。神の栄光を現すためということか」と。

今あなたの前に、挫けそうな課題がありますか。勇気を出してください。あなたの仕事、ボランティア活動、奉仕、それらすべてが神の栄光を現すものであり、主なるキリストに仕えているという事なのです。

讃美歌 367

祈り お父様。真の霊性によって、あなた様のご意志が私たちの歩みのあらゆる局面で働かれるということに気付かせてください。このことを覚えて行動することが出来るよう、私たちを強めてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

デビー・ハリソン

テキサス州 リビングストン

今日の力

2017年8月14日～8月20日

翻訳 藤岡伸子

鈴木慈久

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリスト教会

8月15日（火）

みことばによる怒りからの解放

聖書朗読 ヤコブ 1：19～21

人に思慮があれば、怒りをおそくする。

箴言 19：11

現代は怒りの時代ではないでしょうか。国内外を問わずいたるところ、この世は不正と不公平、そして怒りに溢れているように思われます。けれども、それらを良い方向に向かわせるための互いの合意は殆ど見られず、ただ怒りのみ激しくなるばかりではないでしょうか。牧師である私は、もっと小さなコミュニティーである家庭や教会内でも、同じような現実を目にしています。人というものは憤慨するものであり、時には自分を傷つける意図などあるはずもない物にさえ腹を立てる事があるでしょう。わだかまりが心の内でくすぶり、やがて怒りとなり、それが相手を傷つける言葉や行いとして爆発し表に現れるのです。

人は怒りによって、神の義を現すことは出来ません。例えば、「腹を立てている時にやったのだけど、実に上手くいったんだ」などと言うのは聞いたことがないでしょう。たいていは、怒りの感情を抱いて何かをした時には、後悔する結果が伴う事が多いと思います。怒りから解放されるためには、神に聞き従うことです。私たちを平安へと導いてくださるのは神のみことばです。ヤコブは、「みことばは、あなたがたのたましいを救うことができます。」と言っています。私たちが謙虚に神のみことばを受け入れるなら、神は平安をもたらしてくださいます。神は、怒りの感情を捨てるよう私たちに求めておられます。そして、私たちに望んでおられる事を私たちが成し遂げられるよう、助けてくださいます。

怒りの時代であっても、クリスチャンは怒りの人となるべきではありません。

讃美歌 421

祈り 親愛なる主よ。平和のみことばを私たちのうちに蓄えさせてください。それが私たちの内に根付き、怒りを離れ平和に向かう事ができるよう導いてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

イーハン・ブラウン

ノースカロライナ州 ヘンダーズビル

8月16日（水）

原点に立ち返る

聖書朗読 ヤコブ 2：8～13

律法の中ではるかに重要なもの、正義とあわれみと誠実を、おろそかにしているのです。
マタイ 23：23

イエス様がローマ帝国内の僻地の、薄暗くみすばらしい場所でお生まれになった時、その良い知らせを最初に受け取ったのは、粗野で教養もないと思われるような羊飼いでした。神は、家畜用の飼い葉桶の中に世の救い主である幼子がおられることを、天使の歌声によって彼らに知らせられました。

この事実は、この誕生が通常の誕生ではなく、私達の思い描くイメージを覆すようなご誕生であったことを示しています。今は商業的な目的で用いられているクリスマスの時に、イエス様は私たちに信仰の原点に立ち返るよう求めておられます。自己中心的な欲望の時代にあって、イエス様は私たちに、「あなたの隣人を自分と同じように愛しなさい」と言っておられます。

富や地位で評価しがちなこの社会にあって、イエス様は、偏った見方をしないようにと忠告しておられます。人は他者について早急に判断を下しがちですが、イエス様は私たちに慈愛を示すようにと促しておられます。また、混乱に満ちたこの時代に、「地に平和、善意を人に」と歌う天使の歌声に耳を傾けるようおっしゃっています。義と慈愛と平和と愛。これらは私たちの日々の信仰の礎です。この原点に立ち返りましょう。

讃美歌 124

祈り 親愛なる主よ。肉的な歩みに忙殺されそうな私たちに、どうか信仰の原点である、義と慈愛と平和に立ち返るよう呼びかけてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ビリー・シルベイ

カリフォルニア州 ラウンデル

8月17日（木）

立 派 に 振 る 舞 う

聖書朗読 I ペテロ 2：13～25

いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見出すのです。
マタイ 16：25

私は大学に入学し寮生活を始めたのですが、入寮する初日に駐車場で両親と別れの挨拶をしたとき、母の目は潤んでいたのに、私は涙が出なかったことに少し申し訳なく思ったことを覚えています。というのも、実は私はこの時を待っていたからです。自分の思いのままに行きたい所へ行き、好きなことができる自由を得るといふ喜びがあったのです。勿論、大学生活に何か大胆な計画があったわけではありません。ただ、自分のやりたい事が自由に出来るという新しい経験が、私には「素晴らしい人生」と思えたのです。

今週の聖書箇所は、ペテロが『りっぱにふるまいなさい』（12節）と言った直後に語られたものです。ペテロはさらに、『自由人として行動しなさい』（16節）と言っています。けれども、自由人として生き立派に振る舞うというのは、自分の思いのままに生きるという事ではありません。そうではなく、パウロが言ったのは、キリストに似た奴隷という姿勢、「神の奴隷として」生きるようにということです。

奴隷。この言葉にあまり嬉しい響きはないでしょう。けれども、これこそ私たちが自由にするものです。私たちの思いを変え、自分の意志ではなく、神の善なるあらゆるみこころに謙虚に従うものです。「立派に生きる」ようになること、それはキリストにあって初めて可能になるのです。

讃美歌 338

祈 り 父よ。あなた様は、私たちがなすべき良い働きのご計画をもっておられます。どうか、あなた様が今日私たちに望んでおられることを、成すことができるようにしてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

デイヴィッド・パウンズ
テキサス州 アマリロ

8月18日（金）

真 実 な る 創 造 者

聖書朗読 I ペテロ 4：12～19

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。
ピリピ 2：9

神があらゆる生き物を創造され、それらに『どんな名をつけるかを見るために』（創世2：19）アダムのところへ連れてこられたとありますが、なんと素晴らしいことかと思います。神がアダムのところへ、様々な興味深い創造物を連れて来られた時、彼はどのように思っただろうと私は想像せずにはいられません。そしてアダムがそれぞれに名をつけると、それがその名となったというのもまた興味深いことと思います。

その後長い年月が経ってから、キリストにあってバプテスマを受けた者は『新しく造られた者』（Ⅱコリント 5：17）とあるように、人が生まれ変わることが出来るようになるのです。かつてと同じように、神は、こうした新しく生まれ変わった者たちの名を、人々につけさせてくださいました。神は、一人ひとりに『いのちにあって新しい歩みをする』（ローマ6：4）よう呼びかけ、周囲の者たちはそうして新しく生まれ変わった者たちに相応しい名をつけ、彼らはキリスト者と呼ばれるようになった（使徒11：26）のです。

けれども、キリスト者という名のゆえに、彼らは苦しみを味わうこととなりました（現在もそうかもしれません）。イエス様ご自身も、侮られ、反対され、拒絶されました。ペテロは、主の名によって迫害を受けても、たじろいではないという事を思い出させてくれています。そして、数多くのクリスチャンが証しているように、どんなに不公平で耐え難い苦しみの只中になっても、『真実であられる創造者』（4：19）の御力と約束を信ずるようになった者たちには、喜びがあるのです。初めに私たちの命の息をお与えくださったお方は、いかなる悪にも打ち負かされることはありません。『キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、この名のゆえに神をあがめなさい』（16節）とあるように、立派に歩んでいきましょう。

讃美歌 448

祈 り 父よ。私たちが創造されたあなた様のみちからを信じます。クリスチャンの名を着て大胆に歩むとき、あなた様の御力を願い求めます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイヴィッド・パウンズ
テキサス州 アマリロ

8月19日（土）

11年の祈りと断食

聖書朗読 マタイ 17:14～21

すると、イエスは言われた。「この種のものは、祈りによらなければ、何によっても
追い出せるものではありません。」 マルコ 9:29

友人への誕生日メッセージを皆で贈っていたときのことですが、友人より若い女性
がこう言いました。「私は彼女のお蔭で9年間薬物から解放されています。彼女はそ
の間チョコレートと全く食べていないんですよ」。どう言う意味かと友人に尋ねると、
友人は、「11年前、彼女が薬物中毒で人生のどん底にあった時、皆で彼女を更生施設
へ連れて行き、私は彼女にこう言いました。『あなたが薬物を絶つなら、チョコレート
中毒の私もチョコレートを絶つ。そして、あなたの為に毎日祈る』と。その後2年間
は、試みては失敗という日々が続き、もうダメかと思うことが幾度となくありました。
けれども、私は、祈ることとチョコレート断ちを続けたんです」。

私はこのことを聞いて、弟子たちが男の子から悪霊を追い出すことが出来なかつ
たとイエス様に告げたときに、イエス様が語られたこと（マタイ17章）を思い出し
たと友人に言うと、彼女は笑って、「そんなふうに考えたこともなかった。チョコレ
ート中毒はコカイン中毒と比べたら、絶つのはたいしたことではないから。でも、私は
今も毎日彼女のために祈り続け、チョコレート断ちも続けています」と言うのでした。

誰かが人生のどん底にあるとき、共に歩みつつ、その人がいのちを得られるよう
に、自分の望むものを絶つという生き方。これこそ、主に似た歩みではないでしょ
うか。

讃美歌 452

祈り 私たちのお父様。あなた様のご栄光を現すために用いることの出来るもの
が私たちの内にあるなら、それを見出すことが出来るようにしてください。
イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブン・レムリー
テキサス州 ラボック

8月20日（日）

聖い手を掲げる

聖書朗読 Iテモテ 2:14

あなたの手もとにあるなすべきことはみな、自分の力でしなさい。あなたが行こうと
しているよみには、働きも企ても知識も知恵もないからだ。 伝道者の書 9:10

手は多くを語ります。整形手術で自分の顔を変えることはできますが、手はそうは
いきません。あなたは誰の手ならすぐに見分けがつきますか？ 配偶者、両親、先生な
どでしょうか？ 私たちは手を通じてお互いを知っています。ユダヤ人達は公衆の中で
祈る時、両手を掲げました。それは献身と敬虔さを表す行為でした。人々は彼らの姿
勢に注目しました。しかし神様は心を見られました。そしてそれは今も変わることは
ありません。

パウロは若者のリーダーであるテモテに対して、外側の、見せかけだけのむなし
い言葉に惑わされることなく、神様が見ているもの、すなわち心を見るようにと願いま
した。パウロは、礼拝者たちが日曜日に捧げた祈りの内容につらあう行動を、日々の
生活の中で実行することを望んだのです。すなわち怒りや論争、恐怖にとらわれるこ
となく、暴力に走らず、拳を握りしめることのないようにということです。手は心を
映す鏡です。

あなたは、自分の手が行ったことによって救われたと言うことができますか？ 助
けを与えたり、失望の中にある人に電話をかけたり、服や食べ物を分け与えたり、人
の背中を叩いたり握手をしたり、家や友情を立て直すために努力をしたり、と。今日、
あなたの手があなたの仕える心を表すことができるように祈りましょう。

讃美歌 391

祈り 主よ。あなたは私の手の行いを知っています。あなたの愛が私の手を通じて
表されるように、私に敬虔な心をください。
イエス様の御名によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー
テキサス州 ラボック